

「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」

第20回 埼玉労働局長（代田雅彦）の企業トップ訪問

平成26年3月7日、日本ピストンリング(株)の山本社長をお訪ねしました。



〈訪問企業プロフィール〉

日本ピストンリング(株)（代表取締役社長 山本 彰）

さいたま市中央区本町東5丁目12番10号

自動車・陸船エンジン用組付・補修部品ならびにその他各種部品の製造・販売業

労働者数637名（うち女性104名）（単体ベース）



ポジティブ・アクション普及促進
のためのシンボルマーク『きらら』

〈訪問のあらまし〉

平成26年3月7日、日本ピストンリング(株)に、代表取締役社長山本彰氏をお訪ねしました。総務部長兼秘書室長の入江和彦氏にもご同席いただきました。

同社は、内燃機関部品の専門メーカーとして、高強度耐摩耗性合金鋳鉄、焼結合金、複合材などの材料技術と、これに対する表面処理技術、精密加工技術などに特色を持ち、常に時代の先端をゆく各種機能部品の製造と販売を行っています。それにより、モータリゼーションの発展を支え、世界の自動車メーカーのパートナーとしてワールドワイドに活躍する企業に成長しています。

「管理職への登用」

グループ会社も含めた1,451人の正社員のうち、17%の247人が女性です。10年前は14%ですから、女性比率が上がっていることがわかります。「女性の登用が我が社の成長に必要です。女性が活躍していくためには、上長の意識改革や同僚の理解が得られるよう地道に進めていくことが欠かせません。」と山本社長はお話を始められました。同社では上長の意識改革、また、重作業の軽減化やシフト制への配慮など、制度づくりと環境づくりの両面を数年かけて行っています。その結果、2011年には女性の監督職は3名でしたが現在8名となっており、女性の登用が着実に進んでいます。

代田局長が「日本は、指導的地位に占める女性の割合を2020年までに3割にするという目標を掲げています。」と話を向けると、「男女にこだわらず、優秀な人を採用し、育成していけば自然と女性のボトムアップにつながるでしょう。」と山本社長。代田局長も、「女性の管理職を増やしていくには、採用した女性の配置について配慮をしながら様々な経験を積ませることが重要です。」と賛同しました。すると、山本社長も「近いうちに女性管理職の誕生が実現するでしょう。そのためにも上長の意識改革や同僚の理解力の向上に引き続き取り組んでいきたい。」と応えられました。

今年4月の新卒採用者のうち、22名のうち10名が女性となっており、今後女性の活躍余地がさらに広がることが期待されます。



「女性の職域の拡大」

山本社長からは「人事定期ローテーションのルール化を一層進めるなどにより、それぞれの立場で人材育成していけばさらに女性の活躍の場が広がるでしょう。もうかつてのような『女性は補助作業』という考えはありません。」とのお話もありました。管理間接部門だけではなく、製造部門でも工程の改善などにより、活躍している女性が増えつつあり、成果も出しているそうです。また、研究開発部門にも毎年女性を配属するまでに女性が増えています。さらに、営業においても、取引先のカーメーカー担当者は男性が多いのですが、それでも2人の女性が営業としてチャレンジしているそうです。「QCサークルの女性リーダーも増えていますので、将来の管理職や役員候補となっていくのが楽しみです。」と山本社長。「作業現場の環境整備など女性にとって働きやすい職場というのは男性にとっても働きやすい職場です。」と代田局長は同社の取り組み

を後押ししました。

「継続就労に向けた支援」

同社では家庭環境や地域性もあるものの、女性が出産・育児を理由に退職することはなくなっているそうです。2人目、3人目のお子さんの育児休業を取得している人も珍しくないとのこと。山本社長から「働きやすさを考えて、育児休業や育児短時間勤務の制度を法定よりも従業員に有利にしている面もあります。」とのお話がありました。女性だけに限らず、男性の短時間勤務者もいて、子供の送迎を夫婦で分担しているケースもあるそうです。「企業努力に加えて、家庭内の理解や協力も大切です。」と代田局長。



山本社長から「制度利用者のニーズを吸い上げて、今後活かしていきたいですね。」と今後に向けてのお話もありました。

「女性の継続就労に向けて、社内に託児施設を設ける方法もあります。」と代田局長が申し上げると、「地域によっては子育てを助けてくれる祖父母がいたり、一方で核家族が多い地域もあつたりするので、地域性や家族構成を考慮しながら検討していきたいですね。」と山本社長はお話してくださいました。

代田局長から最後にさらなる女性の活躍推進に向けた取り組みを依頼し、同社を後にしました。職域を広げていくことで、女性も期待に応えて確実に活躍の領域を広げている日本ピストンリング株式会社。いずれ女性管理職が誕生する日が期待できそうです。